

## 2013 年度シーズンラインナップ ～ユベール・スダーン Grand Finale～ 記者会見資料

2012 年 12 月 3 日(月) 14:00～14:45 ミューザ川崎 市民交流室

### <進行次第>

1. 川崎市 阿部孝夫市長メッセージ紹介
2. ご挨拶／公益財団法人東京交響楽団 専務理事 楽団長 大野順二
3. 2013 年度シーズンについて／音楽監督ユベール・スダーン (通訳／井上裕佳子氏)
4. 音楽監督担当者より／辻 敏 音楽監督担当/営業本部本部長/フランチャイズ事業本部本部長
5. 2013 年度シーズンラインナップ概要／豊山 悟 企画制作本部/広報本部 部長  
＜サントリー定期演奏会＞＜川崎定期演奏会＞＜東京オペラシティシリーズ＞＜名曲全集＞＜現代音楽の夕べ＞
6. 質疑応答
7. 写真撮影
8. 会見終了

このたびの、東京交響楽団 2013-14 年シーズンラインナップの発表を心よりお喜び申し上げます。

東京交響楽団が、活動拠点としている、ミューザ川崎シンフォニーホールも、平成25年4月1日、リニューアルオープンすることとなりました。

国際的に高い評価をいただいたホールの音響を復元させ、安全で安心して音楽を楽しんでいただけるホールとして、再開します。

音楽監督として活躍されている、ユベール・スダーン氏におかれましては、次のシーズンが最後と伺っております。10年間、音楽監督として東京交響楽団を率い、その間、同楽団が数々の音楽賞を受賞し、また音楽雑誌での日本のオーケストラ・ランキングで上位に位置づけられるなど、素晴らしい功績を残されました。本市が進める「音楽のまちづくり」に大きく貢献していただいたと感謝しております。



ミューザが休館中の約2年間、市内外で代替公演を開催し、「音楽のまち・かわさき」の灯を絶やさない活動を続けていただきました。横浜で開催された「川崎定期演奏会」についても、多くの方に御来場いただき、好評を得たと伺っており、次のシーズンは、新たなファンも含め、新生ミューザで多くの方々に魅了していただけると、確信しております。

東京交響楽団のますますの御活躍をお祈り申し上げますとともに、今後とも「音楽のまち・かわさき」のパートナーとして、より一層発展されることを期待しております。



東京交響楽団 音楽監督  
ユベール・スダーン  
ラストシーズンへのメッセージ

音楽を愛するみなさまへ

2013年度シーズンは、音楽監督として最後のシーズンとなります。私は数年前にこのことを決めましたが、東京交響楽団のメンバーとの関係が良くなかったからではなく、自分自身が同じことを繰り返し行いマンネリズムに陥ることを危惧したからです。この素晴らしいオーケストラと過ごした時間はいつも美しいもので、私の音楽人生の中でも最も幸せで成功に満ちた時間であったことは間違いありません。その時間を覚えておくため、モーツァルトの戴冠ミサとレクイエム、ハイドンの最初の交響曲と最後の交響曲、シューマンの交響曲第2番、ブルックナーの交響曲第4番、そしてベルリオーズのロメオとジュリエットからの抜粋を選んで指揮することにしました。

東京交響楽団との関係は、素晴らしい時を与えてくれたことに深く感謝の念を感じている楽団員へのフレンドシップと敬愛の元、いつまでも続きます。

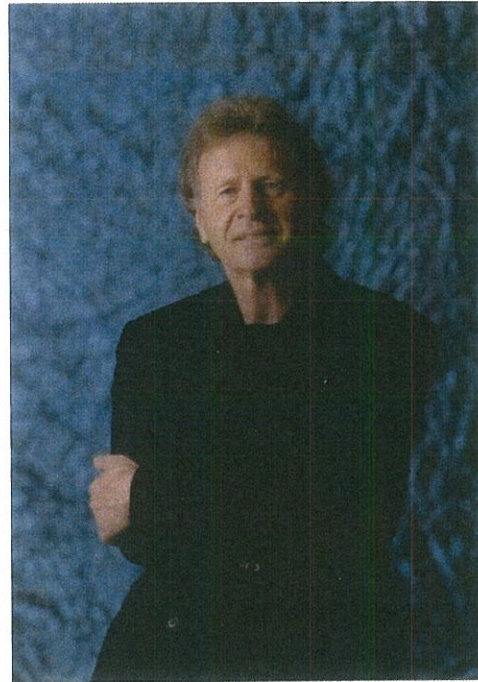
東京交響楽団の将来に、成功と幸福が訪れることを願っています。

東京交響楽団 音楽監督  
ユベール・スダーン

ユベール・スターンは2013年シーズン、東京交響楽団音楽監督として最後のシーズンを迎える。

メルボルン交響楽団首席客演指揮者、フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団、ユトレヒト交響楽団、パルマのトスカニーニ交響楽団、フランス国立ペイ・ドゥ・ラ・ロワール管弦楽団の音楽監督などを歴任。13年間にわたるザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団の首席指揮者を経て、2004年9月に東京交響楽団の音楽監督に就任した。

東京交響楽団音楽監督在任中、ユベール・スターンはシーズン毎にテーマを据え、なかでも2008年定期演奏会におけるシューベルト・チクルスでは、オーケストラを第21回ミュージック・ペンクラブ音楽賞コンサート・パフォーマンス部門を受賞へと導いた。(2009年)このシューベルト・チクルスは様々なメディアで、「2008年もっとも充実した果実」「信じられないほど絶妙なバランスがとれた演奏」と絶賛された。2010年には、CD「ブルックナー：交響曲第7番」(エヌ・アンド・エフ)が第22回ミュージック・ペンクラブ音楽賞クラシック部門録音・録画作品賞を受賞。2年連続の同音楽賞受賞は極めて異例のことで、その実力を広く示した。そのほかの東京交響楽団との録音にはブルックナー「交響曲第8番」、シューベルト交響曲全集(マーラー版)などがあり、いずれも高い評価を得ている。



オペラの分野でもイタリアを中心に精力的に活動しており、日本では2005年6月の東京交響楽団定期演奏会でのプッチーニのオペラ「トゥーランドット」(ベリオ補作版による日本初演)ではそのエネルギー溢れる音楽性が高く評価された。2006年5、6月新国立劇場で指揮した「皇帝テイトの慈悲」は年間ベスト・オペラ公演に選ばれた。

1946年、オランダ・マーストリヒト生まれ。ブザンソン国際指揮者コンクール優勝、カラヤン国際指揮者コンクール第2位、グイード・カンテルリ国際コンクール優勝に輝いている。

これまでに、ベルリン・フィル、ロンドン・フィル、ロンドン響、バンベルク響、ウィーン響、ミュンヘン・フィル、シュトゥットガルト、ハンブルク、フランクフルトの各放送交響楽団、ドレスデン・シュターツカペレ、ソウル・KBS響、シドニー響、そして、ミラノ・スカラ座歌劇場管弦楽団、ローマ・サンタ・チェチーリア管など主要なオーケストラと共演し、オペラの分野でもバステューユ・オペラや、パルマ、カターニャ、パレルモ、トリエステ、ボローニャな



どのオペラハウスで精力的に活動している。

2003年、ザルツブルク音楽祭のモーツァルト週間では「コジ・ファン・トゥッテ」、オネゲルの「火刑台上のジャンヌ・ダルク」も指揮している。イタリアでの2006年シーズンオープニングでは演出家のフランコ・ゼッフィレリと共に「ドン・ジョヴァンニ」を指揮。2007年、フェニーチェ歌劇場でのシェーンベルク「期待」はその緻密な構成力が絶賛された。

また、国際的な音楽祭においてもプラハの春、リンツ・ブルックナー、ザルツブルク・モーツァルト週間、ウィーン芸術週間、ニュー・ヨークのモーストリー・モーツァルト、スポレト、ラヴェンナなど多数参加している。

2004年7月、ザルツブルク市名誉市民およびオーストリア・ザルツブルク州ゴールドエン勲章を授与された。

レコーディングにおいては、チャイコフスキーの交響曲第4番、第5番、第6番、ヴァイオリン協奏曲をはじめ、ブダペスト・リスト・ソサイエティからディスク・グランプリを受賞したロンドン・フィルハーモニーとの「リスト：ピアノ協奏曲集」をパイ・レコードから、バンベルク交響楽団との「ラヴェル：カンタータ集」をリッツオーリ・レコードから、ペイ・ドゥ・ラ・ロワール管弦楽団との「フランス人作曲家たちによる作品集をフォルラーヌから、モーツァルト・ウム管弦楽団との「モーツァルト・フロム・ザルツブルク」、ブルックナー「交響曲第4番」「第9番」、そしてピアノのアファナシエフを迎えたベートーヴェン「ピアノ協奏曲全曲」をエームス・クラシックスからそれぞれリリースしている。

(2012年12月)

シーズン	主な出来事	共演回数
1997 年度	11 月 8 日初共演(東京芸術劇場シリーズ第 35 回)	2 公演
1999 年度	10 月首席客演指揮者に就任	3 公演
2000 年度		3 公演
2002 年度		4 公演
2003 年度		3 公演
2004 年度	<b>9 月音楽監督に就任/7 月ミュゼザ川崎シンフォニーホール開館</b>	8 公演
2005 年度	プッチーニ/ベリオ版:オペラ「トゥーランドット」が、雑誌『音楽の友』による“マイ・ベストコンサート 2005”にて、ベルリン・フィルと並び第 6 位に入る	10 公演
	「ベートーヴェン:交響曲第 9 番「合唱付き」CDをリリース	
2006 年度	モーツァルト:歌劇「皇帝テイトの慈悲」(二期会主催)が話題となる	12 公演
	「ブルックナー:交響曲第 8 番」「モーツァルト:交響曲第 29&39 番他」CDリリース	
2007 年度	定期演奏会のテーマ作曲家「 <b>ハイドン</b> 」	8 公演
	7 月:日本のオーケストラ初の中国・大連公演	
2008 年度	定期演奏会のテーマ作曲家「 <b>シューベルト</b> 」/「シューベルト:交響曲シリーズ」CD(1,000 円)が話題となる	14 公演
	「 <b>第 21 回ミュージック・ペンクラブ音楽賞/コンサート・パフォーマンス部門</b> 」受賞	
	「 <b>シューベルト・チクルス</b> 」が、雑誌『音楽の友』による“ベストコンサート 2008”にて日本のオーケストラの最高位となる	
	雑誌『レコード芸術』による“ <b>オーケストラ・ランキング 2008</b> ”にて日本のオーケストラの最高位となる	

シーズン	主な出来事	共演回数
2009 年度	定期演奏会のテーマ作曲家「シューマン&ブラームス」	11 公演
	「ブルックナー:交響曲第7番」CDリリース、この年の「第22回ミュージック・ペンクラブ音楽賞/クラシック部門録音・録画賞」と「オーディオ部門録音・録画賞」を受賞	
	雑誌『音楽の友』による“ベストコンサート2009”にて日本のオーケストラの最高位となる	
2010 年度	定期演奏会のテーマ作曲家「After シューマン(ロマン派の作曲家たち)」、スダーンの提唱による「モーツァルト・マチネ」シリーズが始まる	14 公演
	「シューマン:交響曲全集(マーラー版)」CDリリース	
2011 年度	定期演奏会のテーマ作曲家「シェーンベルク」、「ブルックナー:交響曲第8番」CDリリース	13 公演
	雑誌『音楽の友』による“あなたが好きな日本のオーケストラは?”にて3位に躍進する	
2012 年度	定期演奏会のテーマ作曲家「マーラーの歌曲」	15 公演
2013 年度	音楽監督としての最後のシーズン「Grand Finale」	15 公演

**全 134 公演**

## 2013年シーズンオンリーの新企画！ 特別セット券〈スダーン・セット券〉

**発売日：2013年1月16日(水)**

音楽監督ユベール・スダーンの演奏を存分に満喫していただきたいと考えた、今シーズンだけの特別セット券。



[対象公演]

- ① 第609回定期演奏会(4/20) もしくは川崎定期演奏会第40回(4/21)
- ② 第612回定期演奏会(7/20)
- ③ 第613回定期演奏会(11/4)
- ④ 第618回定期演奏会(3/29) もしくは 川崎定期演奏会第44回(3/29)
- ⑤ 東京オペラシティシリーズ第78回(3/22)

[特典] CDプレゼント、スダーンメッセージカード、スダーン監督との記念撮影など

[販売方法] TOKYO SYMPHONY チケットセンター(044-520-1511)のみのお取り扱いとなります。ランクを問わずお席をお選びいただけます(購入枚数は、全公演同枚数にてお申込み)。



<サントリー定期演奏会(10回)>

音楽監督ユベール・スターンのコンセプトのもと、ハイドンから続く東京交響楽団の“音楽の旅”はシェーンベルク、ブルックナー、マーラーの歌曲・・・とウィーンの作曲家を追ってきました。スターン監督によるシーズン最終章は、スターン&東京交響楽団で培ってきた十八番であり、このコンビの集大成ともいえる作品をちりばめました。

<川崎定期演奏会(5公演)>

復旧工事中だったミューザ川崎シンフォニーホールの2013年4月リニューアルオープンを受け、昨年横浜みなとみらいホールで開催していたこのシリーズがいよいよ本拠地に帰ってきます。サントリー定期演奏会から厳選した5つの演奏会をおおくりします。

<東京オペラシティシリーズ(6公演)>

2010年度より開演時間を14時にしたシリーズ(1部例外あり)。週末の午後をオーケストラとともに過ごしていただきたいというコンセプトのもと、東響指揮者陣を中心に、ヴァラエティに富んだ作品をおおくりするシリーズ。2012年度から本シリーズのみ、チケット料金に、『シルバーエイジ割引』(詳細はP10)を設けています。

<ミューザ川崎&東京交響楽団名曲全集(10公演)>

ミューザ川崎シンフォニーホールとの共催で、東響指揮者陣に加え、客演指揮者陣の充実ぶりが話題のシリーズ。マエストロ(名匠)によるマスターピース(名曲)の数々をご堪能いただきます。東響首席奏者からは、大谷康子(ソロ・コンサートマスター)、荒絵理子(首席オーボエ奏者)の2名がソリストとして出演します(共に2013年12月21日公演)。

東京交響楽団が、1996年まで定期的に行ってきた「現代日本音楽の夕べシリーズ」。時代の変化と共に休止していましたが、日本人にしか表現できない、日本独特の文化、芸術、音楽を改めて見つめ直し、再び発表していこうと2013年度より再開いたします。日本のオーケストラとして、時代に埋もれた現代、近代の日本のオーケストラ音楽を掘り出し、世に広く紹介していきたいと、今回は60年も前に東京交響楽団が初演した幻の曲を再演、録音いたします。

東京交響楽団 <現代日本音楽の夕べシリーズ 16>

伊福部昭 生誕 100 年記念プレコンサート

### <<伊福部 昭:舞踊音楽「プロメテの火」>>

戦後まもない昭和 25 年、日本中を熱狂させた作曲家・伊福部昭の舞踊音楽「プロメテの火」の音楽が、現代によみがえる。

2013 年 6 月 1 日(土) 15:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

指揮: 広上淳一(調整中) / 演奏: 東京交響楽団

伊福部 昭: 舞踊音楽 「日本の太鼓」 シシオドリ 鹿踊り(ジャコモコ・ジャンコ) (30')

伊福部 昭: 舞踊音楽 「プロメテの火」 (50')

1950 年に日本モダン・ダンスの礎を築いた舞踊家・江口隆哉<sup>たかや</sup>とともに我が国を代表する作曲家、伊福部昭が共同で制作した舞踊「プロメテの火」。1950 年(昭和 25 年)12 月、帝国劇場にて作曲家自身の指揮、東宝交響楽団(現在の東京交響楽団)の演奏で初演されました。川端康成が連載中の新聞小説「舞姫」にこの公演の様子を載せ、また芸術祭文部大臣賞、芸術選奨を受賞するなど、当時としてはセンセーショナルな反響を呼び日本中で 100 公演近くの公演が行われました。しかし、1960 年(昭和 35 年)以後は、一度も再演されず、いつしかスコアもパート譜も紛失、伊福部ファンの間では聴くことのでき

ない幻の作品とされていました。そして約 50 年後の 2009 年、江口隆哉 & 宮操子<sup>みさこ</sup>が指導していた日本女子体育大学にてそのスコアが発見され、2011 年から当時の舞踊関係者と現代の研究者たちの手によってからこの公演の再現プロジェクトが進められてきました。東京交響楽団も当時の演奏団体としてこれに共感し、音楽の再現を試みることにし、「プロメテの火」の火を今一度灯すべく、この演奏会を行います。また一緒に演奏する「日本の太鼓」も 1951 年に東京交響楽団が初演し、その後もNHKの放送開始日に生放送で放映されるなど伊福部を代表する作品で、今回はこれをプロジェクターにて流し音楽と映像にておくりする予定です。

さらに、翌 2014 年の伊福部昭生誕の日には、東京交響楽団が初演をした他の曲を集めた下記コンサートを予定しています。

東京交響楽団 《現代日本音楽のタベシリーズ 17》

## 《伊福部 昭：生誕 100 年記念コンサート》

～東京交響楽団による初演曲を選んで～

2014 年 5 月 31 日(土) ミューザ川崎シンフォニーホール

指揮：井上道義 / 演奏：東京交響楽団 / 二十絃箏：交渉中 /  
東響コーラス / ピアノ：交渉中

伊福部昭：SF 交響ファンタジー第 3 番(1983 年)  
ピアノと管弦楽のためのリトミカ・オスティナータ(1961 年)  
二十絃箏とオーケストラのための交響的エグログ(1982 年)  
交響頌偈「釈迦」(1989 年)

◆定期会員券に「学生価格」が新登場！ **NEW!****対象：小学校1年生～大学生**

学生向けの定期会員券が従来から各ランクに拡大しました。年間定期会員券が通常価格から50%引きでお求めいただけます。TOKYO SYMPHONY チケットセンターへお電話でお申込み。チケットは初回の公演時に窓口にてお渡し、その際、学生証等の提示をしていただきます。他の割引との併用はできません。

## ◆東京オペラシティシリーズ シルバーエイジ割引

**対象：購入時に65歳以上のお客様**

東京オペラシティシリーズの1回券(S・A・B席のみ、C席除く)を1,000円引きで販売いたします。TOKYO SYMPHONY チケットセンターへお電話でお申込み。ご購入時に確認のため生年月日をお伺いします。他の割引との併用はできません。

## ◆当日学生券 1000円！

**対象：24歳以下の学生**

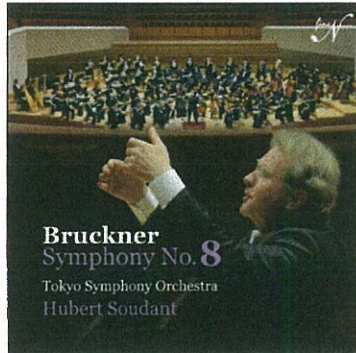
東京交響楽団単独主催(特別演奏会は除く)で公演当日に残席がある場合、当日券販売窓口にて、ご本人様に限り1,000円にて楽団指定の座席を限定枚数販売いたします。当日学生券の発売情報は、公演1週間前に公式ホームページで発表いたします。学生証と年齢の確認できるものをご提示いただいた上、ご購入いただけます。

◆マエストロ(指揮者)からのプレゼント 《マエストロ・シート》 **ご招待!****対象：小学生、中学生、高校生(19歳未満)****\*小学生・中学生は必ず保護者の方とお二人一組で申込みのこと**

<定期演奏会><川崎定期演奏会><東京オペラシティシリーズ>の各公演に東京交響楽団音楽監督ユベール・スダーンをはじめ、各公演の指揮者が小・中学生、高校生のみなさん(5組10名様)をご招待します。終演後にはスタッフがバックステージの指揮者の楽屋にご案内します。

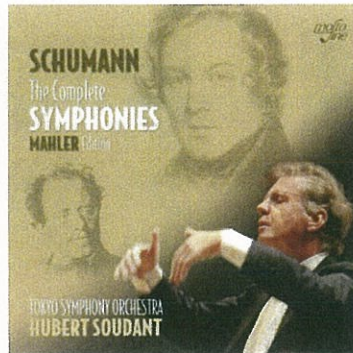
[申込方法]各公演の1ヶ月前までに、ご来場のお二人のご住所、お名前、年齢、電話番号とご希望の演奏会日を明記の上、Eメール/[info@tokyosymphony.com](mailto:info@tokyosymphony.com) でお申し込み下さい。当選者にはご招待状をお送りします。HPからもお申込みいただけます→<http://tso.jp/education>

ブルックナー／交響曲第8番



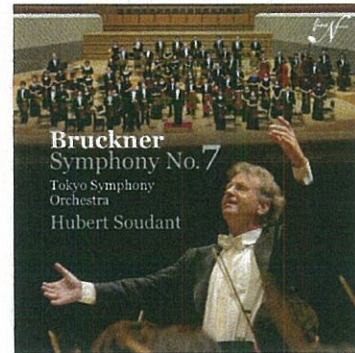
SACD/NF51203 4,000円  
CD/NF21203 3,000円

シューマン／交響曲全集  
(マーラー版、ライブ録音)



MF21205/6 4,000円 (2枚組)

ブルックナー／交響曲第7番



SACD/NF61202 4,000円  
CD/NF21202 3,000円

ベートーヴェン／交響曲第9番

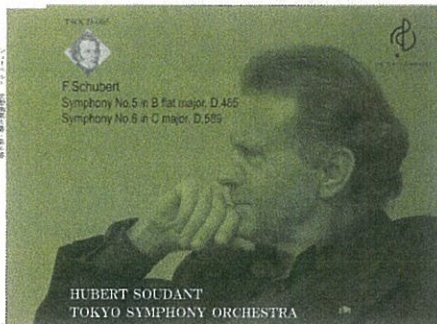


TSOCD-001 2,500円

モーツァルト／交響曲第29番、39番他



TSOCD-003 2,000円



シューベルト／交響曲ライブCD

交響曲第1番&第4番、交響曲5番&第6番は iTunes ストアのみで購入可。

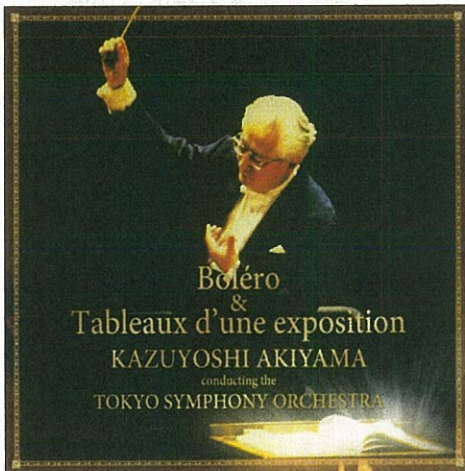
交響曲第3番&第2番、交響曲第7番「未完成」、  
「キプロスの女王ロザムンデ」はCDと iTunes ストアで購入可能です。(各 1,000円)



参考資料

東京交響楽団 そのほかの指揮者陣とのCD

秋山和慶指揮  
ボレロ&展覧会の絵



KICC-1 3,000 円

大友直人指揮  
佐村河内 守/交響曲第1番<<HIROSHIMA>>



DENON COCQ-84901 2,940 円

飯森範親指揮  
名曲全集 I / 名曲全集 II



KICC-872 3,000 円 (名曲全集 I)  
KICC-910 3,000 円 (名曲全集 II)

飯森範親指揮  
レスピーギ/ローマ3部作



OVCL-467 3,000 円

# 東京交響楽団

1946年に創立した東京交響楽団は、音楽監督にユベール・スダーン、桂冠指揮者に秋山和慶、常任指揮者に大友直人、正指揮者に飯森範親を擁しており、2013年度からは首席客演指揮者にクシシュトフ・ウルバンスキ、2014年度からは音楽監督にジョナサン・ノットが就任する。歴代の指揮者陣には往年の名指揮者アルヴィド・ヤンソンス、近衛秀麿、上田仁などを連ねる。

2011年4月には内閣府より公益財団法人の認定を受け、活動の健全性と公益性が広く認められている。さらに2012年度(平成24年度)より設けられた文化庁「トップレベルの舞台芸術創造事業〈年間支援〉」初年度4オーケストラに選定されている。2012年9月より(株)エイチ・アイ・エス会長の澤田秀雄を新理事長に迎え、横川端会長、依田巽副理事長の新体制のもと、さらなる飛躍を目指している。

2008年度定期演奏会でのシューベルト・ツィクルスが、「第21回ミュージック・ペンクラブ音楽賞／コンサート・パフォーマンス部門」を受賞。続く2009年10月リリースの「ブルックナー：交響曲第7番」が、同賞「クラシック部門録音・録画作品賞」と「オーディオ部門録音・録画賞(録音:N&F)」の2部門を受賞し、2年連続の受賞に各界から一気に注目を集めた。2008年、音楽雑誌でのオーケストラランキングにおいても日本のオーケストラで最高位に位置づけられた。

2004年7月より神奈川県川崎市のフランチャイズ・オーケストラとして川崎定期演奏会、名曲全集、音楽鑑賞教室、市民コンサート、川崎市内各地の施設への巡回公演などにも力を注いでいる。新潟市とは準フランチャイズ契約を結び、1999年から定期演奏会や特別演奏会、5年生コンサートを開催している。

主催する演奏会シリーズに、サントリー定期演奏会、川崎定期演奏会、東京オペラシティシリーズがあるほか、新国立劇場のレギュラーオーケストラとして、毎年オペラ・バレエ公演に出演している。またテレビ朝日「題名のない音楽会」へもレギュラー出演している。

現代音楽やオペラ作品を数多く初演していることでも定評があり、最近の主な作品にはH.ラッペンマンの歌劇「マッチ売りの少女」(2000年、日本初演、演奏会形式)、黛敏郎の歌劇「古事記」(2001年、日本初演、演奏会形式)、J.アダムズ「エル・ニーニョ」(2003年、日本初演)、同「フラワリングツリー＊花咲く木」(2008年、日本初演、セミ・ステージ形式)、ヘンツェのオペラ「ルプパ」(2007年、日本初演、演奏会形式)、またヤナーチェク・オペラシリーズ、シューベルト交響曲ツィクルス(2008年)、シェーンベルク・プロジェクト(2011年)など、毎年楽壇の話題となっている。これらの活動により、文部大臣賞、音楽之友社賞、京都音楽賞大賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、モービル音楽賞、サントリー音楽賞、中島健蔵音楽賞特別賞など、日本の主要な音楽賞のほとんどを受賞している。

海外公演も1976年北米ツアーをはじめ53都市71公演を行っており、近年では、2010年7月、「大連市夏季国際芸術祭」に招聘され、日本のオーケストラとして初めて中国・大連で公演を行い大成功を収め、2011年7月には同芸術祭に再招聘された。

子どものための演奏会にもいち早く新しい試みで取り組んでおり、中でも「0歳からのオーケスト



ラ」(2007年～)は、2010年「ひまわり褒章 2010・団体部門賞」を受賞。“次世代への音楽文化の伝承に多大に寄与している”と高く評価された。そのほかサントリーホールとの共催「こども定期演奏会」(2001年～)は日本で初めての“子どもための定期演奏会”という、その斬新な発想に、音楽界のみならず多方面から注目されている。

録音活動においても活発で、TOKYO SYMPHONY レーベル、N&F レーベル、キングレコード、EXTON レーベルほかから多数リリースしている。

公式ホームページ <http://tso.jp>

### <プレスページのご案内>

2013年シーズンのゲストアーティスト、東京交響楽団の指揮者陣オーケストラのプロフィールや写真、プレスリリースなどが当楽団プレスページよりご自由にダウンロードしていただけます。ぜひご利用ください。

東京交響楽団 プレスページ

<http://tso.jp/press>

###

### <取材・写真、そのほかお問合せ>

公益財団法人東京交響楽団 広報本部 TEL: 044-520-1518

豊山 toyoyama@tokyosymphony.com

高瀬 takase@tokyosymphony.com